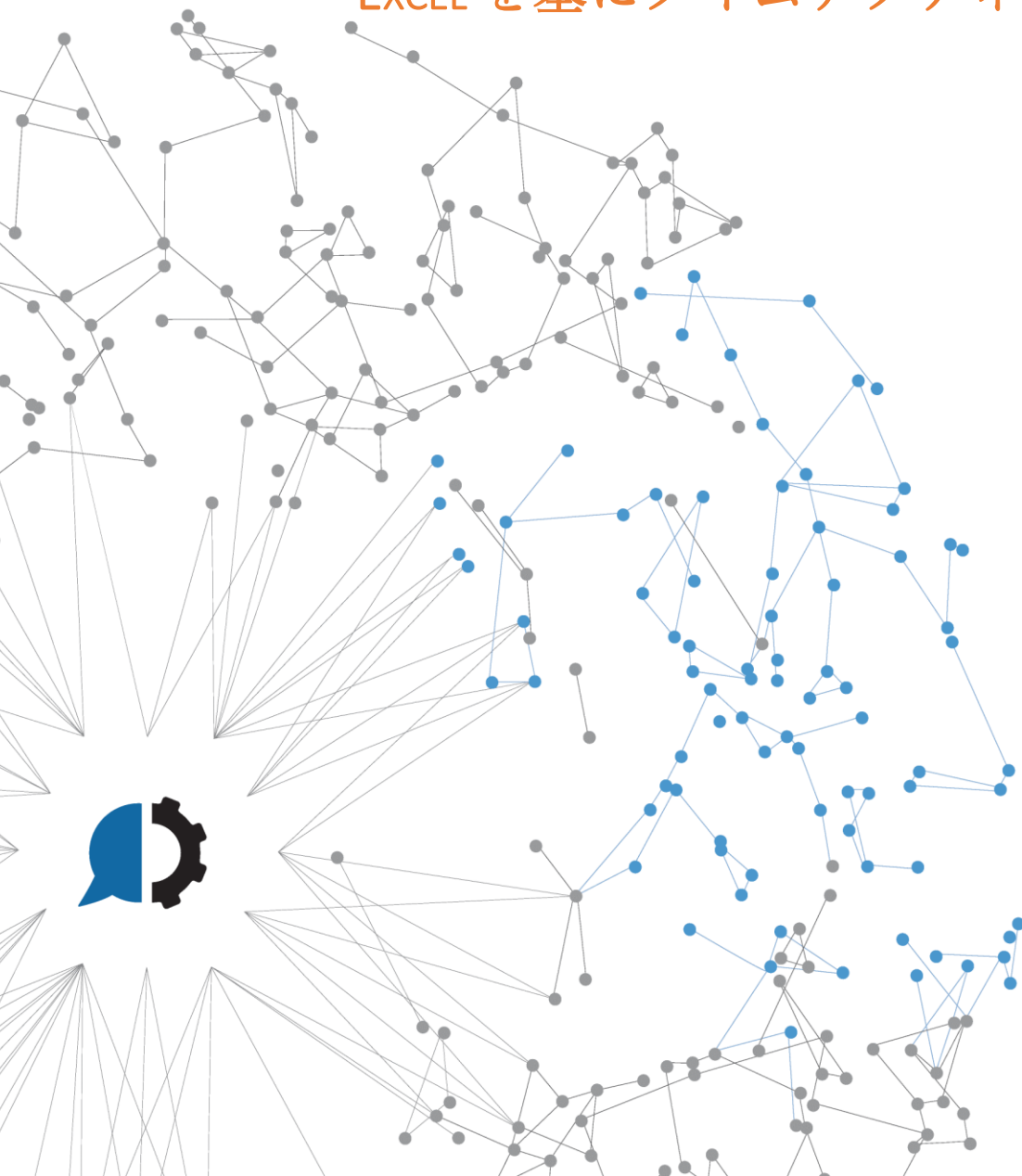




# ACUMATICA BOT

EXCEL を基にタイムアクティビティを作成





## 目次

概要.....	3
必要条件.....	4
AUTOMATE タスクのインポート方法.....	5
入力ファイルの作成方法.....	6
「ACUMATICA BOT – EXCEL を基にタイムアクティビティを作成」の実行方法 .....	7
付録 A – EXCEL の出力と ACUMATICA タイムアクティビティビューの EXCEL の例.....	9
付録 B – トラブルシューティング .....	10



## 概要

この How to ガイドでは、「**Acumatica Bot – Excel を基にイベントを作成**」をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに AutoMate に任せて、RPA による自動化で IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。AutoMate の支援により、ボットが手作業を代行することで反復作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

「**Acumatica Bot – Excel を基にタイムアクティビティを作成**」は、**Acumatica Contract-Based REST API** をベースにしています。HTTP メソッド「**TimeEntry**」を実行することで Acumatica のタイムアクティビティを作成し、その実行結果で Input Excel ファイルを更新します。このボットは、認証に単純な Login to the Service メソッド（ユーザー名とパスワード）を使用します。詳細については、「[必要条件](#)」と「[入力ファイルの作成方法](#)」のセクションをよくお読みください。



## 必要条件

- **AutoMate:** Acumatica ボットは動作に AutoMate を必要とします。最低限サポートされているバージョンは以下の通りです:
  - [Automate Ultimate 11.2](#)
  - [Automate Plus 11.2](#)
  - [Automate Desktop 11.2](#)
- **AutoMate Markup Language file (.AML):** Acumatica ボットタスクのステップを含む AutoMate で使用される主要なファイル形式
- **Acumatica:** 最低限必要なものは以下の通りです。
  - **Acumatica Contract-Based API:** まだインストールされていない場合は、Acumatica ERP Configuration Wizard をインストールし、新しい Acumatica ERP Web サイトを作成することで Contract-Based API を使用することができるようになります。コントラクトベース API は、Web サービス API が提供するオブジェクトモデル上に構築されています。
  - **適切な権限を持った Acumatica アカウント:** AutoMate ボットから Acumatica イベントを作成できるようにするには、新しいアカウントを作成するか、***Time and Expenses*** モジュールに適切な作成権限を持つ既存のアカウントを使用する必要があります。管理者権限をお持ちでない場合は、Acumatica 管理者にお問い合わせください。
  - **Acumatica API Version:** このボットは「18.200.001」バージョンで作成されていますので、お使いのシステムでこのバージョンが利用可能である必要があります。
- **Acumatica の接続値を設定するために作成する AutoMate 定数:**
  - **const\_AcumaticaURL:** お客様のドメインと Acumatica ERP インスタンスの Acumatica URL  
例: <http://localhost/AcumaticaDB>
  - **const\_AcumaticaCompany:** ログオンする Acumatica の企業 ID
  - **const\_AcumaticaLocale:** 使用するロケール言語。例 "en-US"
  - **const\_AcumaticaUserName:** Acumatica にログオンするためのユーザー名です
  - **const\_AcumaticaPassword:** Acumatica にログオンするためのパスワードです

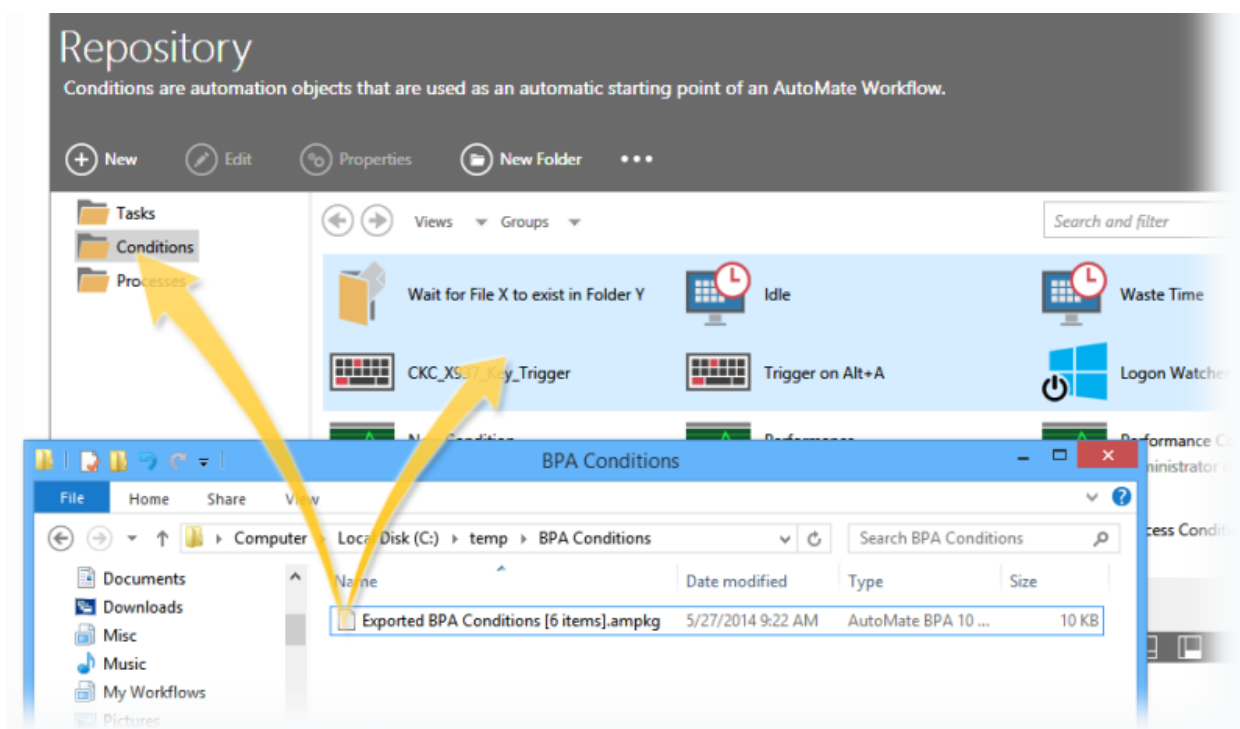


## AUTOmATE タスクのインポート方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでレポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソールから[レポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。





## 入力ファイルの作成方法

Acumatica ボットに同梱されている入力ファイル **「Acumatica Create Time Activities INPUT.xlsx」** は、トランザクションのすべてのフィールドを自動的に補完するための自明なガイドを提供します。

### Acumatica create Time Activity の画面:

Employee Time Activities ☆

📄 ↶

Employee:	<input type="text"/>	Project:	<input type="text"/>	REGULAR	OVERTIME	TOTAL
From Week:	2020-23 (05/31 - 06/06)	Sub Job:	<input type="text"/>	Time S... 01:00	00:00	01:00
Until Week:	2020-23 (05/31 - 06/06)	<input checked="" type="checkbox"/> Include All Rejected		Billable: 00:00	00:00	00:00

🔄 + ✕ VIEW 🔍

Hold	Status	Date	Time	*Earning Type	Task	*Project	Sub Job	Certified Job	Union Local	Labor Item	WCC Code	Time Spent	Billable	Billable Time	*Description
------	--------	------	------	---------------	------	----------	---------	---------------	-------------	------------	----------	------------	----------	---------------	--------------

### Excel 入力ファイル

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
Acumatica Time Activity Fields											
Summary	Note	Status	Billable (X or Blank)	BillableTime HH:mm Example: 01:00	Certified Job (X or Blank)	DateTime dd-mm-YYYYTHH:mm:ss Example: 15/05/202011:00:00	EarningType	Employee	LaborItem	ProjectID	Time Spent HH:mm Example: 01:00

M	N	O
Created?	Result Details	
Yes/No	Date	Time Activity ID / Result Message

注:

- **赤い項目**は必須項目です。
- **赤字**で解説されているフォーマットに注意してください。
- INPUT ファイルの列 M から O には処理の実行結果と Time Activity ID が入力されます。実行結果の例は**付録 A**をご覧ください。

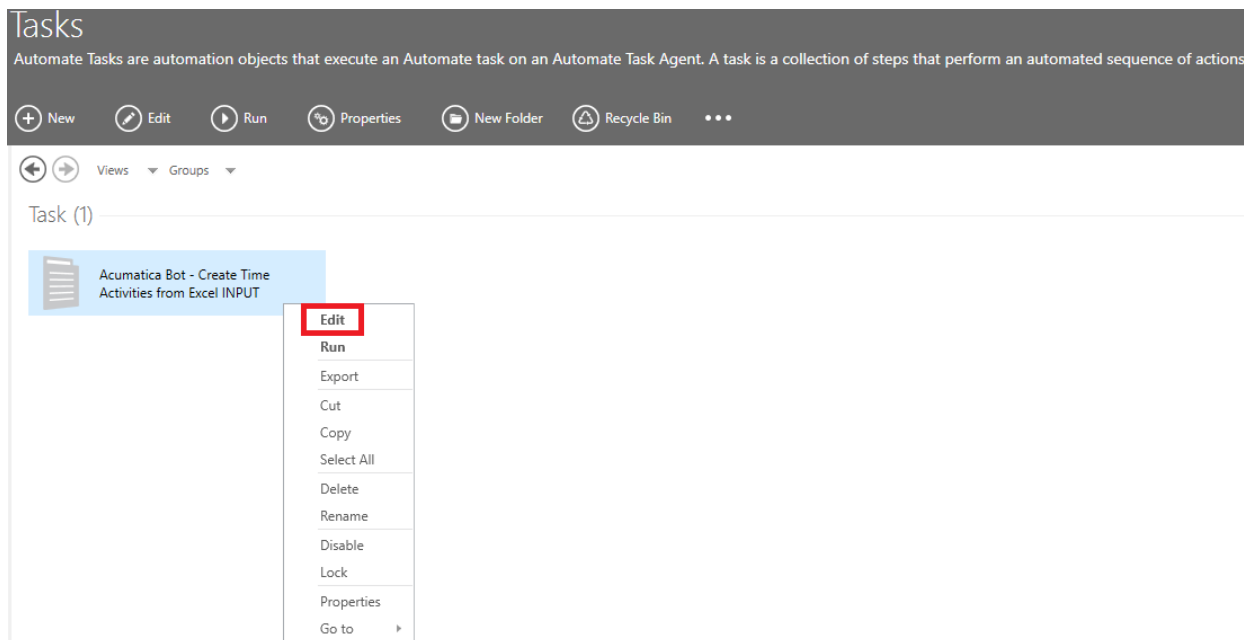


## 「ACUMATICA BOT – EXCEL を基にタイムアクティビティを作成」の実行方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、「編集」を選択して編集します。



ステップ2からは、次の変数をご希望の出力に合わせて編集してください:

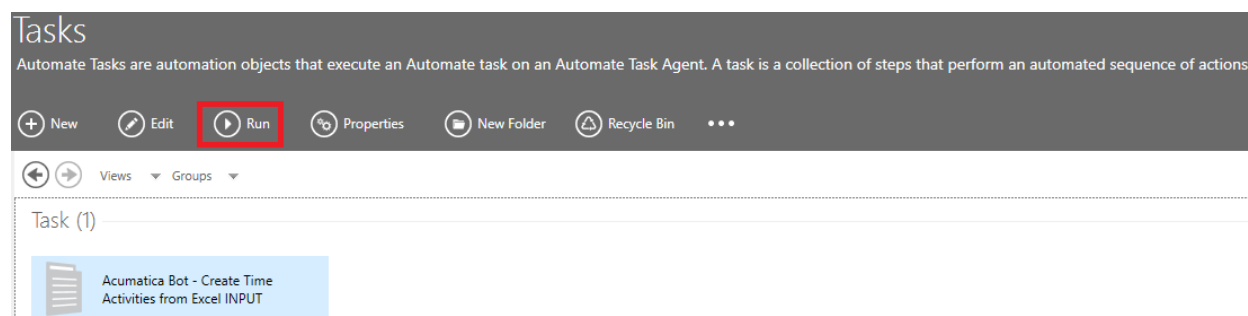
- **var\_ExcelInputFile:** Acumatica Create Time Activities INPUT.xlsx のフルパス及びファイル名

例: **"D:\Automate\ Acumatica Create Time Activities INPUT.xlsx"**

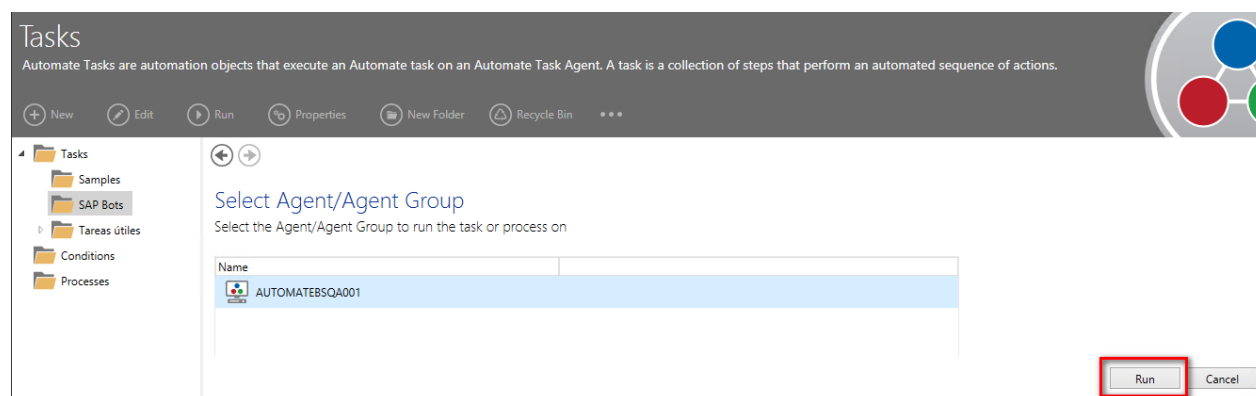
タスクを保存して閉じます。



タスクを選択し「実行」をクリックします。



エージェントを選択し、もう一度「実行」をクリックします。







## 付録 A-EXCEL の出力と ACUMATICA タイムアクティビティビューの EXCEL の例

結果が出力された Excel ファイル:

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
Acumatica Time Activity Fields											
Summary	Note	Status	Billable (X or Blank)	BillableTime HH:mm Example: 01:00	Certified Job (X or Blank)	DateTime dd-mm-YYYYTHH:mm:ss Example: 15/05/2020T11:00:00	EarningType	Employee	LaborItem	ProjectID	Time Spent HH:mm Example: 01:00
Automate Time Activity 1	Automate Time Activity Test 1	Open	X	01:00	X	01/06/2020T11:00:00	RG	SALVAREZ	PRINCIPAL	X	02:00
Automate Time Activity 2	Automate Time Activity Test 2	Open				01/06/2020T00:00:00	RG	SALVAREZ	PRINCIPAL	X	01:00
Automate Time Activity 3	Automate Time Activity Test 3	Open	X	01:00	X	01/06/2020T13:00:00	RG	SALVAREZ	PRINCIPAL	X	03:30

M	N	O
Created?	Result Details	
Yes/No	Date	Time Activity ID / Result Message
YES	01/06/2020 12:02:40 PM	Time Activity Id: e1746eed-18a4-ea11-aa43-f6ef80b75e09
YES	01/06/2020 12:02:41 PM	Time Activity Id: e4746eed-18a4-ea11-aa43-f6ef80b75e09
YES	01/06/2020 12:02:43 PM	Time Activity Id: e7746eed-18a4-ea11-aa43-f6ef80b75e09

注: 実行結果は列 M から O に記録されます。列 O には Acumatica によって作成された Time Activity ID が出力されます。

## Acumatica タイムアクティビティビューの結果:

Employee Time Activities ☆

\* Employee:

From Week:

2020-23 (05/31 - 06/06)

Until Week:

2020-23 (05/31 - 06/06)

Project:

Sub Job:

☒ Include All Rejected

REGULAR

Time S...

06:30

Billable:

02:00

OVERTIME

00:00

00:00

TOTAL

06:30

02:00



## 付録 B-トラブルシューティング

- ログ: 実行毎に、トラブルシューティングのためボットはログファイルを作成します。ログファイルは C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>に保存されます。デフォルトでは、タスク名は *Acumatica Bot – Create Time Activities from Excel INPUT* です。



### About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and Automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people